

別添資料

前回aiデータを素材として15段1/3を記事下5段サイズに再調整すること。

佐賀県は知的財産を

守育生

み出て！

商標編



南田産業株式会社
代表取締役社長
長谷 剛さん



KASANES

創業者や社員の想いを形に ブランドを守り育てる決意

KASANES (カサネス)

「きつかけ」
下請けからの脱却、
自社ブランド設立

半世紀にわたり、大手シューズメーカーの下請けとして革靴のアップパー部分の製造を手がけてきた南田産業。しかし、2020年よりコロナ禍の影響で発注数が急激に減少し、従来のような安定した受注が難しくなりました。代表の長谷さんは、「下請けから脱却しなければこの先も生き残れない」という危機感を抱き、一念発起。社内にプロジェクトチームを発足



各工程ごとのスペシャリストが連携しオールハンドメイドで仕上げる

させ、自社ブランドの立ち上げに向けて動き出しました。

南田産業の強みである革の縫製・加工技術を最大限に生かせる商品は何かと試行錯誤を重ねた末にたどり着いた答えが、オールレザーのルームシューズ。創業

者・古賀重義の「重」を由来とし、社員全員の想いを「重ねる」という意味を込めて、ブランド名を「KASANES(カサネス)」と命名しました。商品リリースの準備が整った矢先、商標登録の重要性を知ることとなります。

「進展」
ブランドの保護と
独自性の確立

すぐれた中、INPIIT佐賀県知財総合支援窓口の支援担当者との来訪をきっかけに、長谷さんは「創業者や社員の想いが詰まった製品を法的に守

り、模倣リスクを回避するため、商標登録は今後の事業運営に不可欠だ」と確信しました。

商標登録の説明や必要書類の準備、申請手続きの仕方に至るまで、支援担当者が手厚くサポートし、無事に商標登録を完了。また、技術開発とデザインの高独自性が高いことから、特許権・実用新案権及び意匠権も取得しました。

「支援がなければ、商標登録の手続きをスムーズに進めることはできなかったと思います。おかげで、自信を

持つて自社ブランドを世に送り出す準備が整いました」と長谷さんは振り返ります。

商標登録によってブランド名が確立されたことで、取引先からの信頼を得やすくなりビジネスチャンスも拡大。これまで東京の大型展示会や百貨店の催事へ出展し、神埼市のふるさと納税返礼品にも採用されました。

「展望」
自社製品を世に発信！

「新たな挑戦を通じて社内雰囲気が明るくなり、社員の生き生きと



素材や色違いで全9種のラインナップがある

した表情が見られるようになりました。今後は本業である下請けの仕事を保ちつつ、ゆくゆくは海外展開にも挑戦したい」と長谷さんは、新たな未来を描いています。

自社ブランドを立ち上げ、保護し、想いを伝えるうえで商標登録を効果的に活用されました。ブランドやアイデアの保護と活用について、ご相談ください。

「●●編」については、取材の結果に応じて別途指示する。

撮影した写真等で記事を構成。
(文章量に応じて適当な配置にすること。)

担当者コメント、写真欄の削除

インフォメーション部分の修正、
デザイン調整

- ・INPIIT佐賀県知財総合支援窓口の情報を掲載する回と、佐賀県産業イノベーションセンターの情報を掲載する回を設ける。
- ・佐賀県産業イノベーションセンターの修正内容については、別途指示する。

知的財産に関する悩みや疑問はこちらまで
相談無料 秘密厳守
INPIIT佐賀県知財総合支援窓口
☎0952-41-9322
営業時間：平日9:00～12:00 13:00～17:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)
佐賀県内の
相談・支援事例を
ご覧いただけます。

「佐賀県知的財産を大切に、みんなで
守り、育て、新たな生み出す条例」に
ついてはコチラ。

佐賀県 佐賀県 知的財産 検索

次回は3/12(水) 掲載(予定)

次回掲載日欄の更新